



静岡小児臨床研究
ネットワーク

●タイトル
「すぐに使える 発達障害の理解と対応」

●対象：小児科医、臨床心理士、保育士、教師、行政関係者、ほかご興味のある方

The map shows the area around Shizuoka Station, with the station itself at the bottom center. A blue line with arrows indicates the route from the station, heading north along National Route 1, then turning left onto National Route 42, and finally turning right onto a road that leads to the JA Shizuoka Eisei Hospital. The map includes various landmarks such as the Shizuoka Eisei Hospital, Shizuoka City Office, and Shizuoka City Hall. The route is marked with a blue line and arrows, starting from the station and heading north towards the hospital. The map also shows the location of the JA Shizuoka Eisei Hospital and the JA Shizuoka Eisei Center.

静岡小児臨床研究ネットワーク 第2回勉強会「すぐに使える 発達障害の理解と対応」
2015年5月16日(土) 静岡厚生病院

<抄録>

小児の発達障害に対しては早期発見・早期介入(対応)の重要性が求められていますが、実際にどう理解し何を支援するのかについては、まだまだ「専門家でなければ難しい」と思われがちです。しかし発達の問題への対応には非常に特異で高度な専門的知識を要するわけではありません。周囲の人の適切な理解と配慮で社会適応が改善することも少なくありません。今回は発達障害者支援や特別支援教育などで話題となっている注意欠陥多動性障害、学習障害、自閉症スペクトラム障害の概念と主要症状、日常生活における配慮について紹介します。



石崎 優子(いしざき ゆうこ)先生 ご略歴

役職：関西医科大学 小児科学講座 准教授

学歴

平成元年(1989)

関西医科大学医学部医学科卒業

医師国家試験合格後、関西医科大学小児科学教室入局

職歴

平成元年(1989)

関西医科大学付属病院小児科医員(研修医)

平成3年(1991)

LCC ストレス医学研究所・心身医学科研修医

平成7-8年(1995-96)

米国留学 ポストン小児病院思春期科

Harvard School of Public Health

平成8-12年(1996-2000)

LCC ストレス医学研究所 勤務

平成9-12年(1997-2000)

帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 非常勤講師

浜松医科大学医学部 非常勤講師

平成13年(2001)

関西医科大学小児科学教室

平成19年(2007)

同上 講師

平成24年(2012)

同上 准教授

平成26年(2014)

関西医科大学附属滝井病院教授

研究歴

平成3-7年(1991-1995)

東京大学医学部母子保健学教室 研究生

平成7年

博士号(医学) 取得(東京大学)

平成8年(1996)

帝京大学医学部 衛生学公衆衛生学教室疫学修練生

専門分野

小児心身医学、小児保健

主な所属学会および役職

日本小児科学会、日本小児保健学会(発達委員)、日本小児心身医学会(常任理事、薬事委員長)、日本心身医学会(評議員)、日本小児精神神経学会、日本小児臨床薬理学会(運営委員)、乳幼児医学心理学会、日本心療内科学会(評議員)、日本交流分析学会、日本公衆衛生学会、子ども環境学会、他